



青谷長尾鼻灯台利活用八良い（弥生）事業

実施団体名：鳥取市青谷地区振興プロジェクト実行委員会

対象灯台：長尾鼻灯台（鳥取県鳥取市）

企画概要

長尾鼻灯台を結節点に、古代から近現代に至るまで、
 青谷地区の歴史や産業、地理・地形等を一連のストーリーとして、青谷高校と「青谷灯台物語」を制作。
 それを契機に、灯台を通じて地域を学ぶ「青谷灯台学」として、
 有識者と共に、関連した学習プログラムを「小学校」「中学校」「高校」「一般」向けに開発。
 青谷地区公民館を「青谷灯台学」の教育センター機能として自走体制を構築。

参考情報



昨年度は青谷高校と連携して 漫画「青谷灯台物語」を完成

2022年度事業では、長尾鼻灯台を起点に、海とつながってきた地域の歴史を落とし込んだ「青谷灯台物語」を青谷高校とともに制作。地域の公共施設、学校に配布した。



海と灯台まち会議にて登壇し プロジェクトを発表

昨年度このプロジェクトに携わった元青谷高校で現鳥取短期大学1年の井口日翔くんは、この事業を通じて、海や灯台をたどれば地域の歴史やロマンにたどり着き、またこれを契機に地域貢献したいと発表した。



青谷中学校では新たな地域学 「探求あおや」開始

青谷町のこどもたちのほとんどが通う青谷小学校、青谷中学校。青谷中学校では地域のことを学ぶ学習「探求あおや」が今年度からスタート。青谷小学校も中学に向けて同様に地域学に重点を置く授業が始まった。



昨年度制作「青谷灯台物語」が契機

昨年度、青谷高校の授業を通じて、「青谷灯台物語」を完成させたことは少なからず鳥取市全域でインパクトを与え、青谷町でも誰もが知る事となった。参加した学生は、この事業を通じて「灯台」が地域の象徴としてあることを知り、あらためて地域を盛り上げることに関心を持った。



自走体制を構築

さまざまな分野の地域有識者をネットワークしてプログラム開発を行い、灯台を通じて地域を学ぶ「青谷灯台学」を語ることができる人材を育成していくとともに、青谷地区公民館が、「青谷灯台学」の教育センターとしての役割を果たし、持続可能に運営されていくための事業収支計画を策定し、自走体制を構築していく。



地域学×灯台

地域にこの学びを根付かせることは「長尾鼻灯台」が地域の象徴として再認識されることにつながる。そのため長尾鼻灯台を中心とした地域の学びを、「小学校」「中学校」「高校」「一般」向けにプログラム化し、青谷地区公民館を受け皿としてプログラムの開発・運営を行っていく。



達成目標

今期で地元の学校や地域に必要とされる灯台を通じた地域学を開発することで2024年度以降、継続的に学ばれる学習と体制が構築されることを目指す。

企画運営パートナー

1

青谷地区公民館

徳原館長は元教師。青谷への郷土愛をどう醸成するかに取り組む。（学びの継承拠点）

2

青谷町観光協会

HP運営などを行っている。最近では、移住した若者なども関わって、地域の情報発信などに取り組む。（事業の情報発信媒体）

3

（株）ケント・チャップマン

学びのプログラム開発など。鳥取の複数企業でコンサルティングを行う。
（学習プログラム構築）

4

鳥取市青谷町総合支所

地域を巻き込み、公民館をサポート 予算獲得など。

5

鳥取県弥生の王国推進課

弥生の文化と灯台を紐づけた学習の監修、講師など。

6

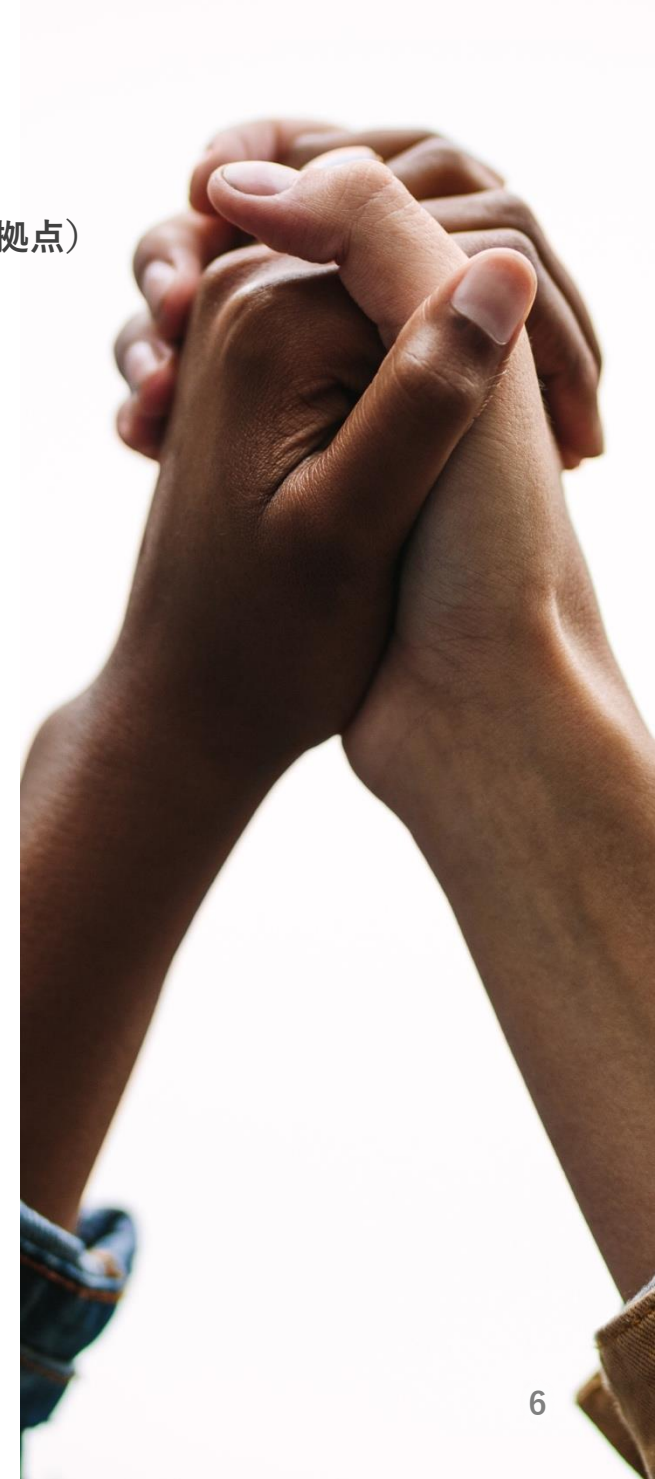
あおやガイドネットワーク

講師としての協力。

7

青谷小学校・青谷中学校・青谷高校

教育委員会とともに学びの連携を行う。



おおむね計画通り、地域を巻き込み、学習プログラムを制作できた！

1

青谷地区公民館 >>> 学びの拠点

徳原館長は郷土愛の醸成を地域の課題と感じていたため意思が合致した。
自走の面で運営を担ってもらうが、個人だけでなくプレイヤーを巻き込むことが今後のポイント。

2

青谷町観光協会 >>> 情報発信

事業を発信するサイト「AOYA TODAY！」を制作。
運営には観光協会のサイト運営に携わる若い方にも参画してもらうことで地域に事業を落とし込んでいく。

3

(株)ケント・チャップマン >>> 企画コーディネート

何度も現地を訪れ地域の方々とのコミュニケーションも深めたうえで企画を行ってくれた。
サイト構築からプロジェクト推進まで携わってもらい、リッチなコンテンツ設計となった。

4

鳥取市青谷町総合支所 >>> 行政面からサポート

地域振興課の松原さんは元学芸員。学習プログラムの監修から地元の調整までサポートしていただいた。
地域に落とし込む際の窓口機能も担ってもらい、自走への架け橋となる。

5

鳥取県弥生の王国推進課 >>> 行政面からサポート

事業がスタートする2024年は弥生時代の遺跡を展示する「かみじち史跡公園」がオープンする年。
連携することでPR面のフォローも行っていただき、鳥取県と連携するきっかけとしたい。

6

あおやガイドネットワーク >>> 地域ガイドフォロー

レンタサイクル事業でのガイド面でフォローをしていただく。
青谷の地域学に詳しい講師には、「灯台」を連携させてガイドのフォローもお願いし、発展していきたい。

7

青谷小学校・青谷中学校・青谷高校 >>> 学びとして継続的に

具体的に年間のプログラムに組み込み自走していくために受け皿となる。
また学習を情報発信することで観光への活用も目指す。

👍 良かったこと



👍 青谷高校では継続して行われている「青谷学」、青谷中学校では、今年度始まった「探求あおや」、小学校では中学校に通じる地域学に対して重点を置き始めたタイミングで、地域にとっても必要な学びを「灯台」や「海」を通じて構築することができた。そのため、円滑に学習プログラム構築の調整ができた。

👍 授業を通じて学校では灯台を訪問する機会を設けたが、子供たちだけでなく先生にとっても素敵な場所だと再認識する機会となったし、知れば伝わるコンテンツだと思った。



反省点・改善案



今後、自走に向けた予算面や、横展開に向けて教育委員会とどのように連携できるか模索が必要と感じた。働きかけを続けてバックアップを取り付けたい。



プログラム構築というある種地味な調整ごとが多かったためニュースリリースなどを活用した効果的な情報発信が少なくなってしまった。今後学習が進むタイミングでリリース、情報発信していきたい。

事業活動として 何をするのか

～価値を提供する源泉となる活動～

01

事業活動その1

青谷小学校・青谷中学校・青谷高校
での学習プログラム開発

事業活動その1 青谷小学校・青谷中学校・青谷高校での学習プログラム開発

青谷小学校



古代米体験



青谷灯台物語読書会



長尾鼻灯台訪問



因州和紙灯台ランプ



これまで行ってきた古代米体験・図工ランプづくりを活用し、「青谷灯台物語」を通じて「弥生の遺跡」「北前船」「灯台」をつなぎストーリー化。北前船で運ばれた和紙で灯台ランプづくり。

青谷中学校

ふるさと学習

探求あおや



海



ふるさと学習「探求あおや」と「海」をつなげ、地域の有志への取材を通じて「海」と「灯台」に育まれた青谷の産業やなりたちを知る。

青谷高校

地域学習

青谷学



灯台



青谷学に灯台学習を入れ、灯台を学び、利活用について考えて発表する。地域の未来のために灯台をどう生かすのか？地域学×灯台。

地域学×海・灯台の一貫学習を通じ、灯台を起点に青谷の誇りを醸成。子供たちが灯台とともに地域の未来を灯すプレイヤーとして育っていく。

事業活動その1 青谷小学校・青谷中学校・青谷高校での学習プログラム開発

1 青谷小学校

主に5年生の授業と連携する。
古代米の収穫から青谷灯台物語読書会で地域と海とのつながりを学ぶ。
「弥生時代」や「北前船」の要素も踏まえたうえで長尾鼻灯台へ。
これまで「工作」ではランプづくりをおこなってきたが、
「長尾鼻灯台ランプ」を北前船で輸送されていた
「和紙」を使って製作する。
※連携先：鳥取市青谷町総合支所、海上保安庁、
あおや和紙工房、鳥取県弥生の王国推進課ほか

2 青谷中学校


2023年度からスタートした地域学「探求あおや」において
地域と連携したキャリア教育も踏まえ、海や灯台とかかわった
キーパーソンへの取材を行う。特にテーマを「海」とする
3年生の授業で、取材で知った海とのつながりをレポートにまとめて
WEBサイトで発信することで、中学生の学びが誘客に向けた
情報発信とつながる。
※連携先：鳥取県漁協、海と大地の自然館ほか

3 青谷高校

継続して行われている地域学「青谷学」に「灯台」を組み入れ、
まず「基礎灯台学」（＝全国の灯台の役割や歴史について学ぶ）と
「鳥取灯台学」（＝長尾鼻灯台を含む鳥取県内の灯台について学ぶ）
を受講。その後実際に「長尾鼻灯台」を訪れ、その利活用について考える。
また、利活用のアイデアを小学生や中学生向けに発表、
実行委員会とともにその実現に向けてアクションを起こす。
※連携先：海上保安庁、鳥取市青谷町総合支所、
青谷小学校、青谷中学校ほか

良かったこと



 授業構築の過程で長尾鼻灯台が児童や生徒にとっても先生にとっても素敵な場所だと気づけた。また、このプロジェクトを通じて地域の大人たちと子供たちが接する機会が増え、灯台を通じて地域のまとまりや地域学の深まりが期待できることが予想でき、地域に必要な灯台学を設計することができると感じる。



反省点・改善案



制作から授業構築、学校との調整、完成から発表までとてもタイトなスケジュールで行ったため、来年度はサポートしながら運用の体制がしっかり整うようにサポートしていく必要がある。

02

事業活動その2

学びを情報発信につなげるサイト構築

事業活動その2

学びを情報発信につなげるサイト構築

子供たちが学んだことをまとめたレポートをピックアップして
WEBサイトに反映し誘客サイトのコンテンツとして活用する。

誘客サイトAOYA TODAY! サイトイメージ

小・中・高の学習レポートを随時アップロード



事業活動その2 学びを情報発信につなげるサイト構築

AOYA TODAY!

1 サイト構築

- ・ AOKA TODAY! は地域の海や灯台の魅力を伝えるWEBサイトです。
- ↓ サイト内コンテンツは以下の通り
- ★海と灯台のまち青谷おすすめスポット
- ★青谷の子供たちの体験レポート
- ★海と灯台プロジェクトとは？
- ★長尾鼻灯台とは？
- ★AOKAレンタサイクルについて

2 レポートアップロード

子供たちが学習で学んだレポートをサイトのコンテンツとして随時アップロード。海や灯台などにつながる地域の魅力を学び、誘客のコンテンツとして更新されることで、サイトとしての魅力、地域の魅力もアップするうえ、子供たちも情報発信に携わる経験そのものも学びとすることができる。

👍 良かったこと



👍 制作には昨年度「青谷灯台物語」のイラスト、シナリオ、デザイン行ってくれた伊吹春香さんが参加。コンテンツをイラスト化していただいたので、事業の統一感の醸成やリッチコンテンツ化ができた。

👍 サイト運営などには青谷町でWEBデザインなどを行っている方も巻き込めたので地域への落とし込みが可能となった。



反省点・改善案



WEBの更新には若者の視点が多分に必要のためより多くの若者、WEBサイトに親しみあるプレーヤーの巻き込みが必要と感じる。



WEBの運営、更新には一定の費用がかかるため、自走の足かせになってしまう。少なくとも最低限かかる費用分は収入が捻出できるようレンタサイクル事業を早く軌道に乗せたい。

03

事業活動その3

学習を一般向けに。まちづくりに生かす
レンタサイクル事業

事業活動その3

学習を一般向けに。まちづくりに生かすレンタサイクル事業

海や灯台につながるスポットをその説明とともにスポット化。
 レンタサイクルルートとして展開ガイドなどとともに
 一般向けに学びを誘客ツールとして活用。

MAP AOA TODAY!

Let's go cycling in Aoyo!

発行：鳥取市青谷地区振興プロジェクト実行委員会

AOYA TODAY! MAPとは？

「灯台(TODAI)」のあるまち青谷の「今(TODAY)」の魅力ピックアップしたが、このAOYA TODAY! MAP。海と灯台とともに発展してきた青谷の気になるスポットを掲載しています。青谷で遊ぶ、学んで、知って、食べて、海の文化や歴史、豊かな自然を体感しよう！

※なお、本マップに登場するAOYAレンタサイクルは、道路の一部を道路建設中であるため不便な状況などに切り替わります。

AOYA TODAY! MAP スポット「テーマ&カラー」

- 遊ぶ
- 学ぶ
- 知る
- 食べる

AOYA TODAY! ウェブサイト

AOYA TODAY! は、日本財団の海と灯台プロジェクトの一環でつくられた小中学生向けの学習プログラムを、一般向けに展開している情報サイトです。本マップに掲載されているスポットの他にも、海と灯台とともに発展してきた青谷のひととスポットをご紹介します。

AOYA レンタサイクルのご案内

長尾鼻灯台を拠点に日本海と大地のダイナミズムが魅力の青谷。海岸沿いの海風も気持ちの良い地形も、電動自転車と上手に相性がいいの心地よい道も、サイクリングがおすすめの「人・海と灯台コース」と「川と灯台コース」にご乗車。自分だけのコースを遊ぶのもよし、オリジナルコースを制作するのもよし。青谷を学びたいあなたに、青谷ガイドネットワークのガイドさんと一緒に楽しんでみるのをおすすめです。また、サイクリングで青谷を楽しもう！

運営 | 株式会社(AOYA レンタサイクルステーション) 鳥取市青谷町青谷 4010-11 (MAP参照)
 営業 | 9:00-18:00
 ※料金体系や予約サービス内容は運営先に直接お問い合わせください。
 休 | 水曜日
 閉 | 0857-85-0305 雨天などの理由によりレンタサイクルサービスの提供を制限する場合がございます。

- 1 長尾鼻灯台**
鳥取市青谷町長尾鼻灯台付託
灯台のライトアップや夏祭りのシンボル「長尾鼻灯台」のライトアップ。このライトアップは、夏祭りのシンボルとして、毎年7月下旬から8月上旬にかけて行われます。長尾鼻灯台のライトアップは、長尾鼻灯台のシンボルとして、毎年7月下旬から8月上旬にかけて行われます。長尾鼻灯台のライトアップは、長尾鼻灯台のシンボルとして、毎年7月下旬から8月上旬にかけて行われます。
- 2 夏泊海岸・夏泊漁港**
鳥取市青谷町青谷 1980
夏泊海岸/鳥取市青谷町青谷 5545-8
夏泊海岸は、夏泊漁港と一体となって、夏泊海岸のシンボルとして、毎年7月下旬から8月上旬にかけて行われます。夏泊海岸のシンボルとして、毎年7月下旬から8月上旬にかけて行われます。
- 3 井手ヶ浜と青谷海岸**
井手ヶ浜/鳥取市青谷町井手ヶ浜 572
井手ヶ浜は、青谷海岸と一体となって、井手ヶ浜のシンボルとして、毎年7月下旬から8月上旬にかけて行われます。井手ヶ浜のシンボルとして、毎年7月下旬から8月上旬にかけて行われます。
- 4 株式会社(AOYA)レンタサイクルステーション**
鳥取市青谷町青谷 4010-11
営業 | 9:00-18:00
休 | 水曜日
閉 | 0857-85-0305
レンタサイクルの運営を行う自走の自転車屋さん。様々なタイプの電動アシスト自転車が用意されているので、お好みのスタイルをチョイスして楽しむことができます。
- 5 青谷かみじち史跡公園**
山根流遺蹟(自然探検資料館)
鳥取市青谷町大坪 249
営業 | 予約制
閉 | 0857-85-0790
「歴史を学ぶ」のシンボルとして、毎年7月下旬から8月上旬にかけて行われます。歴史を学ぶのシンボルとして、毎年7月下旬から8月上旬にかけて行われます。
- 6 青谷ようこそ館**
鳥取市青谷町青谷 4064-12
営業 | 9:30-18:00
休 | 祭日
閉 | 0857-85-0600
青谷の歴史や文化を学ぶことができる場所。青谷の歴史や文化を学ぶことができる場所。
- 7 鳥取市おやね土庫**
鳥取市青谷町青谷 2990-4
営業 | 9:00-18:00 (入庫 16:30)
休 | 月曜日(祝日の場合は除く)
閉 | 0857-85-2351
おやね土庫のシンボルとして、毎年7月下旬から8月上旬にかけて行われます。おやね土庫のシンボルとして、毎年7月下旬から8月上旬にかけて行われます。
- 8 青谷町ガイドマップ**
鳥取市青谷町青谷 2990-4
営業 | 9:00-17:00 (案内係)
休 | 水曜日(祝日の場合は除く)
閉 | 0857-85-2351 (案内係)
青谷の歴史や文化を学ぶことができる場所。青谷の歴史や文化を学ぶことができる場所。
- 9 山根流遺蹟(自然探検資料館)**
山根流遺蹟(自然探検資料館)
鳥取市青谷町大坪 249
営業 | 予約制
閉 | 0857-85-0790
「歴史を学ぶ」のシンボルとして、毎年7月下旬から8月上旬にかけて行われます。歴史を学ぶのシンボルとして、毎年7月下旬から8月上旬にかけて行われます。
- 10 あおや和紙工房**
鳥取市青谷町山根 313
営業 | 9:00-17:00
あおや和紙のシンボルとして、毎年7月下旬から8月上旬にかけて行われます。あおや和紙のシンボルとして、毎年7月下旬から8月上旬にかけて行われます。

灯台・海に育まれたまちとしてマップを製作

「A. 海と灯台コース」 4 → 14 → 5 → 6 → 7 → 1 → 15 → 3 → 4
 「B. 川と灯台コース」 4 → 11 → 1 → 13 → 12 → 16 → 17 → 14 → 4

① 遊ぶ
② 学ぶ
③ 知る
④ 食べる

「A. 海と灯台コース」
 ① 遊ぶ
② 学ぶ
③ 知る
④ 食べる

「B. 川と灯台コース」
 ① 遊ぶ
② 学ぶ
③ 知る
④ 食べる

レンタサイクル事業として
 展開し自走の資金とする。
 ※ガイドプラン有

事業活動その3

学習を一般向けに。まちづくりに生かすレンタサイクル事業

1 レンタサイクル事業

青谷町の学習で紐解かれる「海」や「灯台」とのつながりを感じるスポットをプロットしたマップを制作。マップはWEBサイトで公開し、地域の各所に配布して誘客コンテンツとして活用する。資金獲得事業とすることで、サイト運営や学習運営にかかる費用を捻出し、自走につなげる。


2 ガイド事業

あおやガイドネットワークと連携し、レンタサイクルにガイド付きプランも構築。地域で作られている学習プログラムが一般向けにも提供される体制を構築する。

良かったこと



 海や灯台とつながってストーリーを紐解けるスポットが改めて確認できた。

 2024年3月に県の施設「かみじち史跡公園」がオープンするため地域内外からの人の流れが見込める。レンタサイクル事業のスタートに追い風となる。



反省点・改善案



レンタサイクルは地域の自転車屋に運営委託するが、かみじち史跡公園との連携までは調整できていないため、取りこぼしの可能性がある。県にもアプローチして送客の連携を図りたい。

04

事業活動その4 学習コンテンツとしての動画制作

事業活動その4 学習コンテンツとしての動画制作

元東大王の鶴崎修功さん（鳥取市出身）と日本海テレビアナウンサーが
長尾鼻灯台・海とつながる地域の歴史や文化を紐解きます。
今回鶴崎さんは、「灯台王」として灯台の歴史なども豆知識も披露



事業活動その4 学習コンテンツとしての動画制作

1 テレビ放送

日本海テレビ（日本テレビ系列・山陰エリアの民放）にて
2月25日（日）午後5時～放送。
地上波での放送で、地域内外に波及効果をもたらすことができる。


2 WEB動画

WEBサイトAOYA TODAY！に格納し、
動画コンテンツとして配信。
学習コンテンツとしても授業で活用してもらう。

良かったこと



 テレビ的な面白さも残しつつ、しっかりと「灯台」を起点とした番組作りができた。

 元東大王 と 灯台王 をかけて、かつ鳥取市出身でゆかりのあるブッキングができたため地域に親しみやすいコンテンツとなった。



反省点・改善案



端的に地域と海や灯台のストーリーが分かる動画コンテンツとなったため、今後授業などで積極的に活用できるよう動画コンテンツの使い方も具体的に学校側、地域側と協議していきたい。

顧客ターゲットと 提供するベネフィット

メインターゲット

1 青谷小学校・青谷中学校

地元で生まれた子供たちのほとんどが通う学校。
郷土の歴史、郷土愛を育む象徴としての長尾鼻灯台を作っていく。

サブターゲット

2 青谷高校

地域外からの生徒も多いが、地域学の連携という点では重要

3 地域住民

改めて地域を知り、地域を愛する。
その象徴としての長尾鼻灯台を地域が一丸となって作っていく。

4 域外観光客

今後オープンする県立施設「かみじち史跡公園」整備に伴い
増加することが予想される観光客に向けても地域に広がる学習を伝えていく。



顧客ターゲットと提供するベネフィット

1 郷土愛の醸成、継承の態勢が構築できた。

＜メインターゲット＞青谷小学校・青谷中学校
＜サブターゲット＞青谷高校、地域住民、域外観光客

小学校、中学校、高校と連携し、灯台から海を学ぶ学習が作られ、また地域住民や域外住民にもその学びが共有されることで、郷土愛が子供たちだけでなく、地域の大人、域外の人に向けても発信され深まっていくことで、灯台の価値の継承に資する。

2 副産物として、地域内の交流促進が図れる。

＜メインターゲット＞青谷小学校・青谷中学校
＜サブターゲット＞青谷高校、地域住民、域外観光客

学習プログラムでは地域の大人たちが関わり、また小学校、中学校、高校どうしの連携も促進される。学習プログラムがただ進行するだけでなく、学習を通じて地域内の子供と大人の交流が深まり、「灯台の価値」を継承する地域の受け皿が強固になる。



👍 良かったこと

👍 小学校、中学校、高校で事務局が仲介することでそれぞれ灯台を訪問する機会が作れたことで、地域にとっても灯台の存在意義が再認識するきっかけがくれた。

👍 我々のプロジェクトを通じて、地域だけではつなげなかった、小学校、中学校、高校の連携が生まれつつあること。
また、地域の大人たちと学校の連携が深まりつつあること。



☹️ 反省点・改善案①

若者を取り込むためにもWEBをプラットフォームとしたが、地域の方が学習に触れるための「場所」があると、より分かりやすく入口として地域の受け皿となるので、地域のなかにハード面での拠点の整備を行うことを検討してみてもよいと思った。

チャネル

～顧客に事業の価値を届ける
経路、確認する経路～



学校向け教材の制作

学べる要素を入れ込んだプログラムを開発する際、継承されるリーフレットを制作し、今後誰でも同様の学びが得られるものとする。

一般向けに学びの提供

サイクリングによる地域周遊を通じて、灯台につながるストーリーを紐解くもので、レンタサイクル及び、ガイドの体制を構築する。

観光客向け施策

レンタサイクル及びガイドマップの製作により地域を知り、周遊を楽しむ教育旅行的な要素を入れる。

学びの蓄積

あらたな特設サイトを制作することで、学びを随時アップロード。基本コンテンツとともに学びが情報発信につながる。



ほぼ計画通りに実施できた。

1 学校向け学習教材の制作

小学校向け、中学校向け、高校向けの学習ツールが完成した。イラストは伊吹春香さんをお願いし、統一感とリッチ感を持ったコンテンツとなった。また運営体制も構築し、地域で受け継がれる学習プログラムが提供できた。

2 一般・観光向けに展開


学習プログラムでつながれた海や灯台とまちのストーリーを感じるスポットを点在させたサイクリングルートを提案。マップも制作し、地元の自転車屋にレンタサイクルの運営を委託。自走体制をつくった。

3 学びの蓄積

表向き誘客サイトとなる特設サイト「AOYA TODAY!」を制作。多くの人を町に引き込む。またさまざまな灯台、海、のコンテンツを内包することで情報発信する。また、学習プログラムのレポートをコンテンツ化することで、学びが蓄積されるうえ、学習と情報発信を紐づけて誘客を促進する。

良かったこと



-  学んで、地域がつながって、情報発信し、誘客。今後サポートの必要はあるが、自走する学習プログラムが構築できた。



反省点・改善案



非常に短期間で製作から体制づくりまで整備したので、今後自走、継続していくには年度を超えてサポートが必要になる。

顧客との長期的な
関係構築のために
実行できる施策

オンラインコミュニティ

小学生が学び、中学生が学び、
高校生が学び、彼らが、地域との
かかわりを続けていくために
オンラインコミュニティをつくる。
(将来的に希望する)

自分たちの活動も閲覧できることから
その時だけにとどまらず、
学びに帰ってこれる場所とする。



1 オンラインコミュニティ

WEBサイトとの連携

オンラインコミュニティをイメージしていたが、着実なスタートとして、WEBサイトに学びがアップロードされ、コンテンツ化することを選択した。今後このサイトが充実してくればオンラインコミュニティに発展する可能性もある。

2 学習×観光

AOYA TODAY! の意義

灯台を起点に地域の子供たちが学習をアップロードすることは、情報発信に子供たちの学びが活用されること。子供たちにとっては発信までイメージして学ぶことになり、また自分のレポートが誘客につながることは地域とのつながりを深め地域ブランディングにもつながっていく。

3 高校生のプレゼン

小中高連携

高校生は「青谷学」で灯台について学び、あえて小学生や中学生にプレゼンすることで、甘えの無いアイデアを磨く。地域の子供たちに高校生の姿を示すことは小中学生にとっても高校生活への思いや学びをイメージする学びにつながる。大人たちと連携してアイデアを形にできれば社会とつながりを持つ学習にもつながっていく。

👍 良かったこと



- 👍 小学校、中学校、高校ともに今事業を前向きにとらえ、受け止めてくれているため持続継続につながりやすい。
- 👍 WEBサイトの更新には地元の方にかかわってもらうことができたので、地域への落とし込みにつながる。



反省点・改善案



もっと若いステークホルダーの発掘、熱量のある主体的な地域の方とつながり、自走の輪を拡大していくべく働きかけていく。

事業に必要なリソース ～人、物、情報、許認可～

01

人、物、情報

人

事業企画プロデューサー、
事業進行ディレクター、
事業運営スタッフ、
広報スタッフ、協力団体、
鳥取市、鳥取県、境海上保安部、
地域の関連団体、
動画制作スタッフ、
制作ディレクター

物

レンタサイクル、ガイドマップ、
ウェブサイト、広報ツール

情報

灯台のある長尾鼻と
地域とのかかわり、ストーリー



1 人

多くの地域の人を巻き込み事業推進できた。

- ・ 事業企画プロデューサー
- ・ 事業進行ディレクター
- ・ 事業運営スタッフ
- ・ 協力団体
- ・ 鳥取市
- ・ 鳥取県
- ・ 境海上保安部
- ・ 地域の関連団体（青谷町観光協会、桂自転車商会、D-MOVE、青谷地区公民館、あおやガイドネットワーク）

2 物

レンタサイクル、ガイドマップ、受け皿となるWEBサイト
広報ツールを計画通り制作した。
WEBサイトを重視してリッチ化したため看板を振り替えた。

3 情報

事業を通じて灯台のある長尾鼻灯台と地域の関わり、ストーリーを深めることができた。

学習に展開することで、地域のさまざまな場所、人が海とつながってきたことを改めて紐解くことができたため、昨年度制作した漫画「青谷灯台物語」にとどまらない町の歴史、ストーリーが発見できた。

👍 良かったこと



- 👍 昨年度は高校との連携にとどまったが、今期は、小中学校と連携することでより地域事業者とのかかわりが強くなった。
- 👍 レンタサイクルやWEBサイトも制作できたので、来期スタートする準備が整った。



反省点・改善案



実際に運営、実施が良いスタートが切れるようサポートしていきたい。

02

許認可

許認可

小学校

授業への連携許可

中学校

授業への連携許可

高校

授業への連携許可

教育委員会

今後の横展開

海上保安庁

灯台使用許可

1 許認可

関係機関への説明、巻き込み、事業への参加が滞りなく行えた。

<調整事項>

- ◎青谷小学校での授業と連携実施
- ◎青谷中学校での授業と連携実施
- ◎青谷高校での授業と連携実施
- ◎青谷地区公民館、青谷総合支所との連携実施
- ◎地域の大人たちの講師連携

<説明等の実施内容>

- ◎青谷小学校
 - ・先方の実施したい授業とすり合わせも何度も重ね、授業構築を行った。
古代米田植え→青谷灯台物語読書会→灯台訪問
→青谷和紙工房での和紙作り→長尾鼻灯台ランプづくり
- ◎青谷中学校
 - ・同様に先方のオーダーを入れ込んで、地域の名人取材を通じてレポートをまとめ、発信する。
- ◎青谷高校
 - ・同様に青谷学と連携し授業を構築した。
- ◎青谷地区公民館、青谷総合支所に事務局機能を協力いただいた。

2 追加実施

境海上保安部に、航路標識協力団体の申請をした。

- ・今回継続的な対応ができる窓口、保守、事故の際の責任など受け皿の整備が間に合わず申請ができなかった。
来期に向けて調整をすすめたい。



收支報告

今期、青谷灯台学（生涯学習プログラム）構築事業

①初期投資（イニシャルコスト）	②運営費（ランニングコスト）	③収益
【A：企画運営費】 学習プログラム開発、講師調整等 5,550,000円 【B：広報宣伝費】 のぼり、マップ等 1,900,000円 【C：委託費】 WEBサイト制作、レンタサイクル番組制作など 15,507,000円 【D：旅費交通費】 プロデューサー旅費（東京ー鳥取） 450,000円 【E：製本印刷費】 レンタサイクルMAP印刷 450,000円	【事業運営費】 自己負担金 4,780,000円	【事業運営費】 協賛料（日本海テレビ） 4,780,000円
①23,860,000円	②4,780,000円	③4,780,000円

③収益－②運営費

マイナス 0円

来期、青谷灯台学自走事業

①初期投資（イニシャルコスト）	②運営費（ランニングコスト）	③収益
	<p>【レンタサイクル事業】 レンタサイクル運営委託 316,564円 実行委員会事務局運営費 577,500円 ウェブサイト更新費 330,000円 保守運用、SNS更新 360,000円 制作物更新 330,000円 小中学生授業費用 176,000円 自転車保険 20,040円</p>	<p>【レンタサイクル事業】 売上 2,110,425円</p>
① 0円	② 2,110,104円	③ 2,110,425円

③収益－②運営費

プラス321円

あきらかになった課題と その解決のための施策案

A.利活用事業（コンテンツ）について

課題

コンテンツ造成は計画通りできた。
自走の際のフォローの必要がある。

小学校、中学校、高校向けの学習教材、および発信するWEBサイト
レンタサイクルのマップなどコンテンツの造成は計画通りおおむねできたと
感じる。一方で、この事業は来期実際に運用できてようやく成功といえるので、
しっかりと運用できるよう来年度もサポートしていくことが必要と感じている。



施策

- ◎年度事業なので来期は自走してもらいたいの希望だが、
実際に運用できるよう学校側、講師となる大人たちや、
事務局となる公民館などをフォローしサポートしていく。
- ◎広報面でもしっかりとPRが必要。
県や市と連携してPRを促し、経費を抑えてPRを行えるよう
サポートする

B.実施体制について～熱量をもった主体となる団体や個人を巻き込むこと～

課題

少しずつ地域のプレーヤーを巻き込んでいる。
高齢化する地域のなかでも、若くて熱量のある
プレーヤーや企業などを巻き込みたい。

青谷町総合支所、青谷町観光協会、青谷地区公民館など運営で巻き込んでいる
方々は多くいるが、今後の発展、継続を見据えると、熱量ある若者が不可欠と
感じる。特に、子供たちに未来を語る上では、より近い世代の大人の姿が魅力的に
映ることも必要と感じるし、WEBを使った施策などには若い知見が不可欠。



施策

- ◎今回WEBデザイナーは30代前半の地域の方を
巻き込むことができた。その周辺では30-40代で
地域を盛り上げようとする動きがあるため、
彼らに声をかけ、タイミングごとにうまく巻き込んで
自走の力に変えたい。

C.収支について～運営費と収益を将来にわたって均衡させること～

課題

学習事業でも収益化がないと自走しない。
自治体のフォローなど様々な収益手段確保の必要性。



施策

学習プログラムとはいえ、作って終わりではなく、継続・継承するためには、
たとえば、学校には児童を輸送する交通費がなかったり、授業を行うだけでも
様々な経費が必要ということが分かった。レンタサイクル事業で収益化を
考えていますが、収益化はマスト。教材のアップデートやWEBサイトの更新など
自治体の補助金などさらなる資金援助を確保することが必要ということが分かった。

- ◎鳥取市、鳥取県などに働きかけを継続する。
- ◎レンタサイクル事業の広報のサポート、効率的なPR手法の
獲得などを地域のWEBデザイナーとともに構築する。

まずは、今期制作したツール、レンタサイクルのお披露目を行います。
3月24日には「かみじち史跡公園」のオープンが控えていますので、それに合わせてニュースリリースを行いPR。
しっかりとプログラムをスタートさせ、地域内にも拠点を作るなど町全体でサポートを行います。

【今後の計画】2024年3月21日学習ツール贈呈、レンタサイクルお披露目式

2024年度は以下のことにチャレンジしたいと考えています。

💡 自走資金獲得のための
レンタサイクル事業の強化

💡 学習プログラムが円滑に
進むようにサポート

💡 高校生の利活用のアイデアを
実現に向けてサポート

💡 WEBサイトの発信強化

💡 さらなる地域での体制づくり、
プレイヤーの巻き込み

